



前橋育英高校報

題字 中村有三 学園長

建学の精神 ～正直・純潔・無私・愛～

育英大学開学にあたって 学長 石井 學



育英大学開学に当り、多くの関係者の皆様のご尽力を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。

育英大学教育学部教育学科は教授陣も充実しており、少人数教育で学生1人ひとりにあった、きめ細かいサポートで、道徳心に富み、主体的な判断力を有し、理論と実践に基づいた教育指導者の養成を目指しています。

児童教育専攻は、幼稚園と小学校教諭の1種免許状、保育士資格の取得が可能です。スポーツ教育専攻では、中学校、高等学校教諭保健体育1種免許状が取得できます。

2018年以降の急激な18歳人口の減少期での開学ですが、前橋育英高等学校、育英短期大学、育英大学が連携を強め、三位一体となって、育英学園発展を進めたいと思います。今後共々よろしくお願い致します。



群馬育英学園

(育英大学・育英短大・前橋育英高校)

育英大学開設に伴い新たに学園シンボルマークを作成しました。今後あらゆる場面でこのシンボルマークを活用して学園の統一感を高めて行きます。



■シンボルマークの意味

桔梗は学園の精神である気品と純潔を、ペンとラインは文武両道の姿勢を表しています。エンブレムの上下に上毛三山とはばたく翼を置き、この地を愛する心と、グローバルにはばたく願いを込めました。

■カラーについて

濃紺は学園カラーで、無限性を表す宇宙であり、堅実性を象徴する色でもあります。黄色は明るさと集中力を象徴する色です。無限性、堅実性、明るさと集中力を象徴しています。

CONTENTS



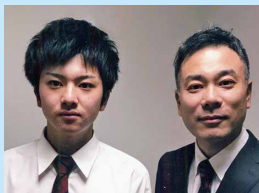
特集 1～3面

- ・育英大学開学にあたって
- ・卒業生教諭情報交換会
- ・地域懇談会
- ・進路/スポーツ実績



保護者会だより 4・5面

- ・進路の日・進学合宿
- ・全国高P連大会・県高P連集会
- ・中毛地区P連集会
- ・吹奏楽部 定期演奏会
- ・マナーアップ運動
- ・スペシャルライブ・前橋まつり巡視



同窓会だより 6面

- ・同窓会長挨拶
- ・定期総会
- ・私の近況報告
- ・親子二代同窓生



後援会だより 7面

- ・後援会長挨拶
- ・定期総会
- ・優秀前橋育英生
- ・援助金贈呈式
- ・コラム育英II



トピックス 8面

- ・全国大会出場決定
- ・運動部・文化部活動報告

学園長挨拶

建学の精神と

校名の語源について

中村有三



昭和37年頃は、高校生の急増期となり、高校への進学希望者が多くなりました。「15の春を潰すな」と言われ、高校入学がきびしくなり、高崎市に東京農大第二高校が誘致されました。前橋市にも東京の私学進出を望む声が高くな

理事長挨拶

育英大学開学にあたり

中村 義寛



2018年、本年4月、学園創立55周年の記念すべきこの年に学校法人群馬育英学園では育英大学を開学いたしました。2013年、創立50周年には前橋育英高校硬式野球部が第95回全国高校野球選手権記念大会において初出場・初優勝、全国制覇を果たし、学園創立50周年に花を添えてくれました。また、今年の上月には前橋育英高

り、予備校を設置している学園へ県からのアプローチがありました。当時300人くらいが入学しており、学園は大変な勇気をもって、高校(普通科)設置を決断し、昭和37年12月22日県知事の認可となりました。校名は、孟子の「君子の三楽」の中の「育英」を建学の柱とし、「天下の勉学の子弟を集めて之を英才に育てる」と定め、個人の持つ長所の伸長を基本とし、人格の陶冶の為に、正直・純潔・無私・愛が設定され、今日まで教職員と理事会が一体となって、文武両道にわたり実績を積んで来ました。今後も更に努力し、一人一人の生徒の個性を尊重した教育の為に努力したいものであります。

校男子サッカー部が第96回全国高校サッカー選手権大会において3度目の決勝進出で初優勝、全国制覇。そしてこの8月には、第100回全国高校野球選手権記念大会・夏の甲子園に3年連続4回目の出場、記念すべき大会で高校野球の歴史の1ページに名前を遺しました。

今回の四年制大学設立は、学園創立からの悲願であり、長年地域の皆さんに支えられ、保育の育英、スポーツの育英として短大、高校が地域に密着した教育を実践し、有為な人材を輩出してきた、まさに集大成となります。

この開学を機に、育英大学・育英短期大学・前橋育英高校は、改革による進化を遂げ、複雑化、高度化が進む社会要請に答え、より一層地域社会への貢献を目指してまいります。

校長挨拶

竹に学ぼう

山田 耕介



「竹に学ぶ」その一は、根の張りに学べです。竹は地下茎をしっかりと張って互いに協力し合って大きな力を生み出し、竹林を支えています。人間も根をしっかりと張り、仲間と手をとり合って協力しなければ、立派に成長できない、ことを教えているようです。「竹に学ぶ」その二は、強靱さに学べ、強さを学べです。竹の地下茎は一節ずつに切れても、そこから独立して成長する逞しい生命力をもっています。また、風に吹かれ雪が被さって一時しなやかにたわむことがあっても、よくそれに耐えて跳ね返し本来の姿に戻ります。人間も柔軟な強さを持ち、逆境に耐えろと教えています。

「竹に学ぶ」その三は、節に学べです。成長すると20メートルにもなり、先に多くの葉をつけながらも、まっすぐに立っている強さの秘密はあの節にあるのです。一節一節、けじめのある生活を積み上げて、まっすぐに正しい人生を築くと教えています。

「竹に学ぶ」その四は、竹の多様性に学べです。竹は日本人の生活のいろいろな面に役立っています。家具や工芸品、食用、文房具、日用品等に使われています。そして今、自然志向の中で竹が見直されています。広く人の役に立つ人間になれと教えているようです。先人は言っています。「試練や苦難を乗り越えてこそ心は感謝にあふれ、より鮮烈に幸せを感じる事ができる」また、「たゆみのない学びの努力が精神を豊かにし、強くする」。皆さん、竹から学び、これからはがんばりましょう。

卒業生教諭情報交換会 vol.7 ~教育現場から期待すること~ 10月24日(水)

恒例となった卒業生教諭情報交換会は、今年で7回目を迎えます。今回は群馬県内で活躍される17名の先生方に参加頂き、教育現場で感じる貴重なご意見を頂くことができました。

見を前橋育英の発展に繋げていきたいと思ひます。

参加頂いた先生

金子登先生 (前橋みずき中学校)

岩崎真人先生 (前橋第三中学校)

齋藤大輔先生 (前橋第七中学校)

須藤達也先生 (前橋第七中学校)

小川 真太郎先生 (前橋南橋中学校)

岩木 佑太先生 (前橋南橋中学校)

玉田 和彦先生 (前橋荒砥中学校)

橋本 智之先生 (高崎高松中学校)

新井のどか先生 (高崎片岡中学校)

小井土 泰之先生 (高崎寺尾中学校)

高橋 真悟先生 (高崎倉淵中学校)

新井 健司先生 (高崎群馬南中学校)

小池 和幸先生 (伊勢崎あずま中学校)

佐藤 実加子先生 (玉村中学校)

三澤 秀匡先生 (嬬恋中学校)

関上 智昭先生 (前橋白川小学校)

瀬谷 慶成先生 (前橋粕川小学校)



主な意見

前橋育英が持つブランド力をさらに高め、ストロングポイントを県内外に浸透させるよう広報活動を工夫して欲しい。



小池 先生

卒業生の情報として、進路先だけではなくその先の就職先を知りたい。キャリア教育



須藤 先生

育の一環として、職業に通じるアプローチをしていくことが非常に重要である。

前橋育英から育英大学に進学し、体育教員となって県内で活躍して欲しい。育英大学が教員養成の先端となることを期待している。



小川 先生

交換留学制度など世界との繋がりを感ずることのできるシステムを取り入れ、国際的に活躍できる人材を育ててほしい。

大変貴重なご意見をありがとうございました。頂いたご意見

進路

～きっと見つかる、色んな夢～

平成30年度入試結果

大学合格者数 **450名** (現役415名)

国立・準大学合格者数 **55名** (現役51名)

私立大学合格者数 **395名** (現役364名)

進路の日Ⅰ類

今年度は東大生・慶大生の2名による有意義な講演が行われました。「夢を持つこと」そして「夢を語ること」で自分自身のやる気を高めていくことができ、それこそが夢を実現する力になるといふ熱いメッセージが生徒に送られました。生徒一人ひとりが自己実現に向けて前を向き頑張っていくことを期待したいと思います。

進路の日Ⅱ類

県立女子大文学部、健科大看護学部・診療放射線学部、高経大地域政策学部から計4名の本校Ⅱ類卒業生が集まり、Ⅱ類の持つ可能性や高校生活の過ごし方についてのシンポジウムが行われました。同じ類型の先輩の話というところで、生徒の聞く姿勢はいつも以上に熱心でした。生徒からは進路実現に向けて意識が高まった様子が窺えました。

校外夏期進学合宿を終えて

今年度はⅠⅡ類計137名の希望者が3泊4日の進学合宿に参加しました。休憩時間を短くして設定した学習時間以上に努力するなど、自分自身の限界突破に挑戦する姿勢が印象的でした。また多くの生徒が「自分ではできないんだ。」ということに気づいたようです。この経験を今後の飛躍につなげて欲しいと思います。

大学見学を終えて

10月11日、普通科13クラスが東京大、早稲田大を始め、MARCHなど首都圏の有名大学の見学を行いました。実際の大学施設を見て驚きを感じたり、学生の雰囲気を知ったことで、進学意識が高まったようです。今後は自らの希望する大学のオープンキャンパスに参加するなどして、志望校決定につなげて欲しいと思います。

地域懇談会の開催

本校では毎年、学校近隣の「朝日が丘町」、「上新田町」、「光が丘町」、「大利根町」の各自治会役員の方々をお招きし、本校管理職と地域住民の方々との情報交換の場を設けています。

去る7月2日(月)に開催した今年度の地域懇談会では、学校より最近の行事、クラブ活動等の成果報告に加え、今年4月より開学した育英大学の紹介を行いました。

自治会役員の方々からは、本校生徒の登下校時の自転車マナー(並走・一時停止交差点での停止)などに関する問題点、生徒を送迎する保護者の運転マナーなどに関するご意見ご指摘をいただきました。特に雨の日は学校周辺が混雑するため、集団登校の小学生が事故に遭



わないよう充分に注意してほしいとの話がありました。また、本校生徒の学校生活や日常生活に関するご質問だけでなく卒業後の進路状況についても熱心に質問され、本校に対する関心の高さやうかがうことができました。今後も地域の方々との情報交換を活発に行い、ご意見ご指摘を真摯に受け止め、皆様に親しまれる前橋育英高校を目指してまいります。

スポーツ実績 2018 Summer～Autumn

陸上競技部

- 2018東海インターハイ**
- 男子
 - 【三段跳】外所晴貴(3年) 15m49 3位
 - 【棒高跳】古澤一生(1年) 4m80 6位
 - 女子
 - 【棒高跳】岡本風香(3年) 3m75 7位
- 福井しあわせ元気国体2018**
少年男子共通
- 【三段跳】外所晴貴(3年) 15m13 8位
- 第3回ユースオリンピック競技大会(ペノスアイル)**
- 【棒高跳】古澤一生(1年) 5m10/5m22 2位
- 第53回県高校総体 駅伝競走の部**
- 男子 3位
 - 女子 4位

男子サッカー部

- 2018東海インターハイ** 出場
- 第97回全国高校サッカー選手権大会**
群馬県大会 **優勝**

女子サッカー部

- 2018東海インターハイ** 3位
- 第34回群馬県女子サッカー選手権大会** **優勝**
- 第27回群馬県高等学校女子サッカー選手権大会** **優勝**
- 第27回関東高等学校女子サッカー選手権大会** 6位

男子バスケットボール部

- 2018東海インターハイ** 出場
- 福井しあわせ元気国体2018**
少年男子 群馬県選抜(5名) 出場
近藤虎ノ介(3年)・土田昇平(3年)
萩原健斗(3年)・入澤翔(3年)
野本康悟(2年)
- 2018全国高校バスケットボール選手権大会** 県予選会 **優勝**

水泳部

- 男子
 - 第53回県高校総体 競泳学校対抗** **優勝**
 - 2018東海インターハイ**
【200m個人メドレー】浮島知稀(3年) 2分6秒91 15位
- 福井しあわせ元気国体2018**
オープンウォーター 綿貫慶吾(3年) 出場
- 競泳**
少年男子A
- 【200mバタフライ】久保田健太(3年) 出場
 - 【400m個人メドレー】内海翔吾(3年) 出場
 - 【400mメドレーリレー】
- 久保田健太(3年)・浮島知稀(3年) 出場

ウエイトリフティング部

- 女子
 - 第26回日韓中ジュニア交流競技会**
【53kg級】原沙織(3年)
スナッチ72kg
クリーン&ジャーク89kg
トータル161kg **優勝**
- 福井しあわせ元気国体2018**
【53kg級】原沙織(3年)
スナッチ70kg 11位
クリーン&ジャーク94kg 7位
トータル164kg 8位

剣道部

- 男子
 - 2018東海インターハイ**
前原溪人(3年) 出場

柔道部

- 男子
 - 2018東海インターハイ**
81kg級 秋本凌吾(3年) 出場
- 女子
 - 52kg級 赤石萌夏(3年) 出場
 - 57kg級 川端千晴(3年) 出場

- 63kg級 高橋珠理(3年) 出場
- 70kg級 小鮎未来(2年) 5位

- 福井しあわせ元気国体2018**
少年女子 群馬県選抜(3名) 出場
矢島さゆり(3年)・川端千春(3年)
小鮎未来(2年)

女子テニス部

- 2018東海インターハイ**
【シングルス】湯浅里帆(3年) ベスト16
- 福井しあわせ元気国体2018**
少年女子団体 湯浅里帆(3年) 出場

ゴルフ部

- 福井しあわせ元気国体2018**
女子団体 石川茉友夏(3年) 出場

硬式野球部

- 第100回全国高校野球選手権大会** 出場
- 第71回秋季関東地区高等学校野球大会**
県予選 **優勝**
- 第71回秋季関東地区高等学校野球大会**
ベスト8

弓道部

- 女子
 - 県高校弓道地区大会** 中毛地区
団体 3位
個人 石井夢夏(1年) 3位
 - 第18回東日本高校弓道大会** 県予選会
団体 5位 ※東日本大会出場
個人 倉林亜実(2年) 3位

ボウリング

- 第42回全日本高校ボウリング選手権大会**
渡辺莉央(2年) **優勝**
- 福井しあわせ元気国体2018**
少年女子 渡辺莉央(2年) **個人優勝**
予選/1175 決勝/777 ※大会新
トータル/1952 団体4位

保護者会だより

第二回 進路の日

進路指導委員長 藤井 昭宏

9月10日、第2回「進路の日」が実施されました。

Ⅲ類・Ⅳ類・保育科の生徒を対象に「保護者会・OB OGの協力による職業感育成ワークショップ」が開催されました。

今年で5回目となるワークショップも、例年通り保護者が各クラスに分かれ自分自身の経験を基に「将来の就職まで知っておくべきこと」をテーマにお話ししていただきました。保護者



の真剣な話にも、生徒達はメモを取る姿も見られました。今回のワークショップが少しでも生徒達に役立てば良いと思いますし、生徒達が今何をするべきなのかを考えるきっかけになればと思います。

進路指導部主任 渡辺 貴弘

普通科ⅢⅣ類保育科対象「職業観育成ワークショップ」は教室という空間で、身近な社会人である保護者のみなさんと双方向の交流ができる生徒にとって貴重な機会となっています。AIにより今後15年で今ある職業の約50%がなくなるという報道がある中で、高校生は将来の職業選択に苦勞しているようです。しかし、仕事の内容や職種も当然大きなことですが、それ以上に「働くとはどういうことか」を知ることが今の子どもたちにもっとも必要なことであると考えます。この講演での保護者のみなさんの言葉がきっかけで、生徒たちの将来の選択に良いきっかけを与えてくれたと確信しています。ご協力ありがとうございました。

進路の日の講話を聞いて

3年10組 西台 健太

講師の方々のお話を聞いて、「今のうちから色々なことに挑戦すること」や、「自分をうまくアピールする」など将来へつながるお話が印象に残りました。

同じ仕事を長い間続けられるような、自分にあつた仕事を将来見つけられるように頑張りたいです。

講師として貴重なお話をして頂いた保護者の皆さん、有り難うございました。



進学合宿を見送って

進路指導委員長 古矢 祐子



記録的な暑さの中、7月21日から4日間、新潟県津南町にて進学合宿が行われ多くの生徒達が参加しました。

出発式では、これから行う学習に向け、生徒達の意欲と気合が伝わってきました。今年も保護者会より果物・ドリンク等の差し入れを行い、その後学校で指導する先生方、進路指導委員会の役員で出発するバスを見送りました。



全国高P連 佐賀大会に参加して

8月20日～21日

副会長 大淵 奈々子



大会テーマは「広めよう高めよう 慈しむ心」でした。少子高齢化やグローバル化の進展などに伴う急激な社会変化の中で、多くの高校生が自分の将来に不安を抱き、将来働くことに気がかりを感じています。学校での進路指導の充実に加えて、職業観の育成、進路決定における保護者の関わりが重要になっています。キャリア教育を媒介にして、学校と保護者が協働できる体制作りについて研究協議を行いました。

県高P連指導者 研究集会に参加して

学年活動副委員長 設楽 真希

11月16日、前橋テルサに於いて行われ中央中等、桐生第一、渋川、伊勢崎高校の4校の研究協議が発表されました。各校ともPTAと学校の関係を掘り下げた内容で、生徒を中心として学校と家庭が協力する考えがみられました。また、最近の傾向としてSNSに頼るあまりコミュニケーションが図りづらい、群馬県の高校生の自転車による交通事故が全国ワーストである等の問題が提起され有意義な研究集会でした。

中毛地区PTA指導者 研究集会に参加して

会計 安藤 充恵

10月5日、伊勢崎市境総合文化センターにて、中毛地区4校のPTA会長による協議と生徒による意見発表が行われました。勢多農林、前橋東、伊勢崎商業、伊勢崎高校各校の取り組みについて詳しく意見を聞かせていただき、学校とPTAの連携の重要性を実感しました。前橋商業、前橋女子、伊勢崎工業、伊勢崎商業の生徒さん達の特長豊かな発表は地域の活性化や被災地支援などの思いが感じられる素晴らしいものでした。

吹奏楽部

第45回 定期演奏会を終えて

指揮者 山本 佳弘

私が本校吹奏楽部の指導を始めて一年半が経ちました。部員達は、演奏活動を通して様々なことを経験し、また多くのことを学んだと思います。個人の技術の向上、音楽的な表現、アンサンブルでは周りとの協調と主張のバランスなど…。

吹奏楽は文化系の部活動で、座っているから体力は使っていない、という間違った認識をされることがあります。腹式呼吸の連続、姿勢の確保、足の踏ん張りなど、体力はかなり必要です。指揮も同様で、二時間の演奏会では一〜二kg体重が減ることもあります。



そして頭も使います。リズムはかなり数学的ですし、和音やフレーズ

は絵画的で文学的です。作曲者や作品を知る手がかりは歴史的で地理的です。何より音楽には答え（完成）が存在しませんのでやり尽くすことがありません。



基礎の上になんか乗せると質が高くなるように、人としても基礎的なことを大切にしながらこれから活動していきます。心のある、愛情のある音楽が、前橋育英高校吹奏楽部の目標です。

定期演奏会を終えて

部長 大谷 美涼

今年の定期演奏会は、今年までの中で一番楽しく行うことができました。新体制になり苦労も多かったのですが、それ以上に自分の中でベストな演奏ができて幸せでした。前橋育英の吹奏楽部でしかできない経験、山を越えてきた。本当に最高の日々でした。

体育祭

体育祭に参加して

体育委員長 石田 時彦

体育祭に参加してまず第一に感じた事は、さすが「ステューデント・ファースト」前橋育英高校と言う事でした。生徒の皆さんが本気で楽しんでいる姿を、周りで先生方が温かく笑顔で見守っている。改めて前橋育英高校は素晴らしい学校だと感じました。

四会場全てで、クラスが一丸となつて大変盛り上がりつつある姿を観ると、前橋育英高校の活力を感じました。実行委員の



皆さん、素晴らしい体育祭を観させて頂き有難うございました。これからも、生徒皆さん及び前橋育英高校のご活躍を期待しております。

体育祭を終えて

体育祭実行委員長

3年1組 狩野

10月17日、無事に体育祭

文化委員主催による「スペシャルライブ」

ミュージックア・ラ・カルトを聴いて

文化委員 田村 つづる

日毎に秋の色が濃くなり芸術にふさわしい季節となりました。10月20日演奏家の長谷川幹人先生をお招きし文化委員主催の「エレクティオンとピアノによるスペシャルライブ」を視聴覚室にて開催しました。保護者や教職員に加え生徒や朝日が丘

町の方々にもご参加いただき一時間ほどの素敵な演奏会を楽しみました。今回のプログラムは私達が親しみやすく飽きのこない選曲にしていたいただき「楽団ひとり」のオープニングが始まると同時に会場の皆さんは演奏に釘付けになり、様々な音色や効果音に驚きの様子で「夢のある贅沢な時間をありがとう」と言った声を聞いたとき会場の皆さんが日頃の雑踏を忘れリフレッシュできたのではないかと思います。長谷川先生からもPTAの取り組みに感謝の言葉をいただきました。参加者の皆さん、ありがとうございました。

マナーアップ運動

生徒指導副委員長 高橋 正法

子供たちが安全に登校出来るよう、年3回のマナーアップ運動を実施しています。

新前橋駅付近と学校周辺の約10箇所に先生方と保護者で交通指導を行いました。ほとんどの生徒がしっかりとルールを守って登校をしていました。



が終わりました。一昨年のように雨も降らず、とても良い体育祭になったと思います。私は体育祭実行委員長として選手宣誓と閉会式での挨拶を行いました。人前に立つのが苦手な友達にも心配される程でしたが、練習の通りに出来て良かったです。励ましてくれた友達や先生に、心から感謝します。今年の体育祭は、皆さんの青春の一ページになりましたか？青春は、自分で作り、輝かせるもの。皆さんの青春が、きらきらと輝いていることを願います。

前橋まつり巡視

生徒指導委員長 深野 忍

10月6日(土)前橋まつりの巡視が行われました。前橋八幡宮に集合し4班に分かれ出発しました。巡視後の報告会では、数組の生徒に会った際、きちんと挨拶ができる様子でした。口頭の声掛けでも意識づけができたと思います。晴天に恵まれ汗ばむ陽気でしたが、今後も生徒の為に、保護者皆様のご協力をお願いします。



前橋育英

雄渾

同窓会
だより

前進

同窓会長 新井 信雄
(第3期生・昭和43年卒)



前橋育英高等学校同窓会
会員の皆様には日頃より格別
のご配慮、ご支援をいただき
心より感謝申し上げます。

今年度より同窓会総会は
同窓会の集いと名称をあらた
め、会員の皆様に多数参加し
ていただきました。当日の記
念講演では創始者であり、現
在学園長である中村有三先
生の前橋育英高等学校の創
立に向けて、不撓不屈の精神
で幾多の困難を乗り越ったお
話をいただきました。

部活動においては、現校長
の山田耕介先生が率いるサッ
カー部が第96回全国高校サッ
カー選手権大会決勝戦で流
通経大柏(千葉)に競り勝ち
念願であった初優勝を果たし
ました。その瞬間、前橋育英
高校が新たな歴史の一ページ
を開けたと実感しました。

またインターハイでも女子
サッカー部が堂々第3位入賞
し各クラブの活躍がありまし
た。さらに福井国体において
ボウリング種目で渡辺莉央さ
んが本県初の女王に輝きま
した。硬式野球部においては、
第100回全国高校野球選
手権大会出場し強豪校とし
て勝ち上がりました。文化
面でもボランテニア部、百人
一首部の県大会入賞、放送
無線部の総文祭出場、吹奏
楽部の定期演奏会、華道部の
関東大会敢闘賞などの活躍
がありました。

2020年に東京オリ
ンピック、パラリンピックを
目指している同窓生もあり、
今後同窓生の更なる活躍を
期待しています。我が同窓会
も2万4千人を数え、これか
らも前進していきたいと考
えております。



私の近況報告

みなさまの笑顔のために!!

(第14期生・昭和54年卒)
女屋 真人



私は卒業後ホテルに入社
(就職)しました。中国料理
の料理人を目指していくつかの
ホテルや結婚式場で修業し
沢山のことを学びました。
30代で結婚しその2年経った
平成7年2月起業しました。
私がかつて学んできた職場で

親子二代同窓生



荒川 浩一

(第29期生・平成6年卒)
裕道 (普通科2年)

平成6年に私が卒業した同
校へ息子が入学し2年が経過
します。息子は小学校から
続けてきた軟式野球を高校で
も続けたいとの強い思いから、
同校への進学を選択しました。

は、年々人手が不足してきて
ありました。こんな加工品
があつたらいいのに!!ここ
まで加工してあれば味付け
自分でやりたい(いわゆる半
加工食品)。そんな思いや声
からオーダーメイドの業務用
食品加工業を始めたのです。
大手食品会社ではやらない
小回りの効いた商品は、大変
好評で早いもので創業24年
目に入りました。

食を通してお客様を笑
顔にしたいそれが私の信念
です。おいしいものを食べて
笑顔になつてもらいたい、そん
な笑顔を身近で見られたら
と、8年前平成22年7月一
般消費者向けに手づくりの
おそうざいとお弁当の店一

現在では部活の主将を務める
など充実した学校生活を送つ
ております。私の英語の教科
を担当した先生が軟式野球
部の顧問をしており親子二代
に渡り素晴らしいご縁に触れ
たことに感謝しています。当
時私は高校球児として憧れの
甲子園球場の舞台を夢見て
昼夜練習に励んでおりました。
卒業から19年後の第95回全
国高校野球選手権では甲子
園初出場と全国制覇を成し
遂げたことは誠に同慶の至
りと存じます。残りの高校
生活を息子の大きく飛躍す
る準備期間として心の成長を
見守つていきたいと思ひます。

前橋育英高等学校

2019年度

同窓会総会・懇親会

日時 2019年7月6日(土)
午後5時より

場所 ホテルラシーネ新前橋
前橋市古市町1-35-1

卒業生ならどなたでもご参加OKです!!
お気軽にご参加下さい!

詳細については後日同窓会HPまたは
Facebookにてお知らせします。

★同窓会のホームページが出来ました★
<http://www.mikuei-dousokai.com/>

(第42期生・平成19年卒)
齋藤 珠美

心屋を開店しました。手づ
くりにごだわり安心安全な
食品づくりを心がけがなばつ
ております。

近年の母校の活躍は誠に
すばらしいものです。とても
刺激になり、また励みになつ
ております。

前橋育英高校の卒業生と
して誇りを持ち、『みなさま
の笑顔のため』がんばつてお
ります。

私は現在看護師として県
内の病院で働いています。
高校時代は現実主義で医療
系の資格を取れば就職活動
に有利だと考えて看護師と
選びました。実際看護師と
して働くとは患者さんに起き
ている異変を発見したり複
数の患者さんの担当になる
ため優先順位を考え行動す
る必要があり考える力や勉
強が大切になります。日々
業務に追われて大変ですが
患者さんや家族の方からの
感謝の言葉を頂けて非常に
やりがいのある仕事です。
ドラマで放送されているよ
うな救急医療の処置が病棟
でも必要な場面があり、生
命を助ける事に重みを感じ
ます。世の中にはいろいろ
な職種がありそれぞれやり
がいがあると思ひますが、
自分は結果的に看護師を選
んでよかつたと実感してい
ます。今後も自己のスキル
アップと職場のために日々
精進していきたいです。

後援会だより

富士山は見えるか

後援会長 福島 英人



十月十六日読売新聞朝刊の編集手帳(コラム欄)に載っていた記事です。

『富士山について、気象庁の関係者に伝わる小話がある。山頂付近で気象を観測する職員が同窓会に出席すると、みんなに言われた。「景色のいい所で仕事ができ、じつにうらやましい。」職員は頭をかきかき答えたらしい。「しかし、ぼくのいる所からは富士山は見えないんだよ。」

我が前橋育英高校は、昭和三十八年四月の開学以来、五十五年の歴史を積み上げてきました。多くの運動部が努力の結果全国大会へと駒を進め、五年前には全国高等学校野球選手権大会(夏の甲子園)優勝、本年の全国高校サッカー選手権優勝と、素晴らしい成果を残

すに至りました。また、学業面においても国立公立大学をはじめ難関私学への進学者も年々増えています。

このようなスポーツ・学業面の活躍だけでなく、普段の生徒の生活姿勢を見ている周囲から、育英高校は本当に素晴らしい学校になったと、お褒めの言葉をたびたびいただきます。しかし、本校で学ぶ生徒たちはどう感じているのでしょうか。富士山の中にいて、富士山が見えない状態になってはいないでしょうか。

後援会の目的は、建学の精神である『正直・純潔・無私・愛』を基盤として、社会に求められる卒業生を送り出し、併せて育英高校の発展に寄与するところにあります。本校で学ぶ生徒自らが、外からの評価だけでなく、育英高校に三年間学ぶことが出来るように、後援会として側面から支援してまいります。皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。



平成30年度「優秀前橋育英生」表彰式の様子

- 今年度の「優秀前橋育英生」は、次の生徒達に贈られます。表彰式は12月20日終業式後に執り行われます。
- ウエイトリフティング部 原沙織(3-4) 優勝
 - 第20回全国高等学校女子フットリフティング競技選手権大会 53kg級
 - 日・韓・中ジュニア交流競技会 53kg級 優勝
 - 陸上競技部 古澤一生(1-3) 銀メダル
 - 第3回ユースオリンピック競技大会棒高跳び
 - ゴルフ部 石川茉友夏(3-9) 出場
 - 2018 PGM世界ジュニアゴルフ選手権大会 15~18歳の部
 - 男子サッカー部 榎本樹(3-10) 出場
 - U-18 2018 SBSカップ国際ユースサッカー
 - 女子サッカー部 伊藤有里彩(2-14) 出場
 - FIFA U-17女子ワールドカップウルグアイ2018
 - ボウリング 渡辺莉央(2-10) 優勝
 - JOCジュニアオリンピックカップ第42回全日本高校ボウリング選手権大会
 - 福井しあわせ元気国体2018大会第73回国民体育大会少年女子
 - 放送無線部 大林菜々(2-3) 出場
 - 第65回NHK杯全国高校放送コンテスト 朗読部門
 - 2018 信州総文祭 朗読部門



この変化を全国民で注目し協力し合い、良い国作りとなる事を期待して、日々邁進して行きたいと思っています。(O記)

平成三十年度 後援会定期総会 6月29日(金)ラシーネ 副会長 赤木 由美子

平年より早く梅雨明けした6月29日ホテルラシーネ新前橋にて平成最後の後援会定期総会が行われました。土田副会長の司会進行により開会し、福島会長の議長進行にて定期総会にご出席いただいた38名の皆様に議案を審議頂き、全て承認されました。

定期総会終了後、懇親会が開かれ、後援会の親睦を深めるひとときを過ごしました。回を重ねるごとに多くの皆様とお会いし皆様の前橋育英への熱い気持ちが伝わります。来年は新しい年号がスタートします。より多くの皆様のご参加をお待ちしております。

7月20日、後援会クラブ活動援助金贈呈式が行われ、後援会組織の20クラブに福島後援会長より援助金が直接贈呈されました。式に先立ち、故前田勇前後援会会長への感謝状贈呈が福島会長よりありました。前田前会長は30年にわたり本校後援会の会長を務めていただいた方です。また、援助金贈呈式では福島会長のご挨拶の後、大手真智子女子サッカー部監督よりお礼の言葉を述べていただきました。各クラブともこの援助金を生徒のクラブ活動がより充実するように有効に使ってもらえればと思います。

今、日本で一番注目されている2020東京オリンピック。このコラムで取り上げ三回目となりました。現在、東京周辺では開催に向けて国立競技場、選手村などの建設が急ピッチで進められています。東京へ足を運ぶ人には日に日に町の光景の変化に気づいている人も多くいると思います。また数年前からいろいろな問題がメディアに取り上げられていた築地市場も、ようやく移転が完了し、一般開放も始まりました。多くの観光客で賑わっています。

交通機関については、山手線の品川・田町間に40年ぶりの新駅が誕生します。様々な事に東京の変化、日本の変化を目のあたりにしているのではないのでしょうか？

この変化を全国民で注目し協力し合い、良い国作りとなる事を期待して、日々邁進して行きたいと思っています。

平成三十年度 後援会定期総会 6月29日(金)ラシーネ 副会長 赤木 由美子

学校後援会援助金贈呈式 教頭 神山 義幸

コラム育英Ⅱ 2020年東京オリンピック開催

全国大会 出場決定!!

男子サッカー部

第97回全国高校サッカー選手権大会出場

監督 山田 耕介

皆様方の応援の力で、5年連続22回目の優勝を果たすことができました。本当にありがとうございました。スタンドでのパワーが、選手達にも伝わったと思います。

今年のチームは、去年日本一を取ったことで、目にみえないプレッシャーとの闘いだったと思います。選手たちは、この優勝で大きく成長できました。タフで逞しいチームになりつつあります。しかしこれからが大切。これに満足せず連覇を目指し日々精進していかなくてはなりません。

まだまだ闘いは続きますが、全国の舞台上前橋育英のサッカーを表現できることに感謝し、がんばりましょう。



第97回全国高校サッカー選手権大会
2018/12/30(日)～2019/1/14(月・祝)
埼玉スタジアム2002ほか

女子サッカー部

第27回全日本高校女子サッカー選手権大会出場

監督 大手 真智子

この度、沢山の皆様方の応援のおかげで、5年連続全日本高等学校女子サッカー選手権大会に出場することが出来ます。この場をお借りして心から感謝申し上げます。群馬県予選を六連覇し、関東大会では、苦しい闘いの中、アディショナルタイムに得点し、全国大会の切符を手にすることができました。

今年は、「Evolution」を掲げ、今の自分に満足せず、日々成長できるように努力してきました。

昨年の悔しさを胸に、夢の舞台で闘える喜びを噛みしめ、支えてくださった全ての方々への感謝の気持ちを持ってチャレンジャーとして挑みます。応援宜しくお願い致します。



第27回全日本高等学校女子サッカー選手権大会
2019/1/3(木)～13(日)
神戸総合運動公園ほか

男子バスケットボール部

ウインターカップ2018 出場

監督 加賀谷 寿

愛知インターハイ2回戦敗退、全国の強豪校とのファンダメンタルの差を痛感させられたまま今年度のインターハイは終わりました。選手たちの中では例年以上に危機感が芽生え夏以降の練習、試合では基本的なことを正確にプレイするという部分が非常に良くなり、特にディフェンスが声を出して協力するようになったのはチームスポーツであるというのを選手がよく理解し、成長出来たと思います。ウインター県予選は昨年以上にまとまり、他を寄せつけず優勝出来たのは学校関係者、保護者の協力があった結果であり、感謝しております。本戦ではメインコートでプレイする事を目標にチーム一丸となり頑張りたいと思いますので応援よろしくお願致します。



第71回全国高等学校バスケットボール選手権大会
2018/12/23(日・祝)～29(土)
武蔵野の森総合スポーツプラザ

陸上競技部 第3回ユースオリンピック競技大会

日程: 10月6日(土)～10月18日(木)

会場: アルゼンチン プエノスアイレス

【男子棒高跳】古澤一生(1年)

結果: ステージ1 5m10 3位

ステージ2 5m22 2位

トータル 10m32 2位

古澤選手はステージ2で5m22(自己ベスト 高1歴代1位)を跳び、銀メダルを獲得しました。



ボクシング部

県高校ボクシング新人大会 兼 関東選抜大会群馬県予選会

日程: 11月2日(金)～4日(日) 会場: 伊勢崎工業

結果: 男子 ライトフライ級 岡部慎太郎(2年) 優勝

ミドル級 大澤春樹(2年) 優勝

女子 演技の部 新井優美(1年) 優勝

男子で優勝した岡部選手と大澤選手は関東選抜大会及び全国選抜大会に出場します。



(左)大澤君 (右)岡部君

ボウリング 福井しあわせ 元気国体2018

日程: 10月2日(火)～10月5日(金)

会場: スポーツプラザ WAVE40(福井県福井市)

少年女子 渡辺莉央(2年)

結果: 予選/1175 決勝/777【大会新】トータル/1952 優勝



放送無線部 第15回群馬県高校放送コンクール

日程: 11月11日(日)

会場: 中央工科デザイン専門学校

結果: (朗読部門)大林菜々(2年) 1位 最優秀賞
大林さんは来年7月に佐賀で行われる第43回全国高等学校総合文化祭2019 佐賀総文(放送部門)に出場します。



弓道部 県高校弓道新人大会 兼 第37回全国高校弓道選抜大会県予選会

日程: 10月20日(土)・21日(日)

会場: ALSOKぐんま武道館弓道場

結果: 個人 齋藤李実(2年) 優勝



「全国大会出場募金」申込受付中

本校ホームページからのお申込みで、クレジットカード、ペイジー(インターネットバンキング)、コンビニ支払いがご利用いただけます。

URL: <http://maebashiikuei-h.ed.jp/donation.php>



(QRコード)

編集後記

文化副委員長 佐藤孝子

長かった酷暑もようやく去り、秋の深まりを感じる季節となりました。

今号も前橋育英高校生の活躍、学校行事・保護者の活動等沢山つまったものが出来上がりました。この感動、そして情報をお伝え出来ることをうれしく思います。

また発行にあたり沢山の皆様にご協力頂きました。改めて感謝と御礼を申し上げます。

合同誌広報委員

保護者会

高学後同 援窓
校園会会

遠藤 邦男 塚智 直恵 真下 直敏 唐沢 義美 高橋 幸光 岡上 靖光 神澤 孝光 黒山 孝光 小磯 孝光 磯野 孝光 小野 孝光 横山 孝光 森村 孝光 柴田 孝光 田村 孝光 中野 孝光 小森 孝光 森野 孝光 席野 孝光 安藤 孝光 柳沢 孝光 佐藤 孝光 青藤 孝光 柳藤 孝光